

令和2年8月11日

## 新型コロナウイルス感染症関連での食肉業界の販売動向等

公益財団法人日本食肉流通センター

コロナ感染症関連で、食肉業界の販売動向等、国内の部分肉価格及び牛肉の輸出がどのような影響を受けたかについて、業者への聴取を行った結果の概要は、以下のAの通り。また、当センターの公表資料や貿易統計から判明したことは、B及びCの通り。

### A 食肉業界の販売動向等

当センターの出店社および関係する企業等（計21社）から、主として新型コロナウイルス感染症関連の影響によるとみられる、食肉の販売動向等について、当センターの職員が7月末から8月上旬に聴取した結果、概要は以下の通り。

食肉の売り先別に、主として、牛・豚肉の販売動向等を整理した。

大部分が神奈川県川崎市周辺の業者からの聴取であることを、考慮頂きたい。

#### 1 食肉の売り先別の販売動向

##### ア 外食

外食は総じて売り上げ減少が深刻で、いまだ減少が継続。

コース等の高価格部位の売り上げ減少。単価の高い和牛の売り上げ減少。

2月から影響がはじめ、緊急事態宣言下の4～5月が売り上げ4～9割減で、6・7月でやや回復したが、依然として1～5割減の状況。

店舗の立地により影響が異なり、市街地は郊外に比べ、売り上げ減少が大。

直近の感染者増加への対応で関係自治体からの時短操業や営業自粛要請による需要減少への懸念を表した社、多数。

##### ・ 焼き肉店

3月以降、インバウンド減少に加え、外出自粛要請等が継続し、売り上げ減少。倒産あり、時短営業、4月以降営業停止店舗増加。6月再開店舗も来客数は少ないまま。売り上げ 3月2～4割減、4・5月7～9割超減、6・7月 1～5割減

##### ・ ホテル

3月以降、かなりの落ち込み。6月以降の回復、緩やか。  
インバウンド、国内のビジネス客や観光客、結婚式等の宴会すべて大幅に減少。  
コース等の高価格部位の納入量が激減。

##### ・ 居酒屋

3月以降、5割超減少、4月以降さらに売り上げ減少。回復、緩慢。

#### イ 大手量販店

外食から中食・内食へのながれ。単価の高い和牛は売れ行き不振。  
和牛枝肉価格が下がったので、期間限定の特売実施に協力。  
低価格部位のもも、肩や切り落としでの対応　ロース等は特売対象外。  
乳牛肉への販売意欲が高じているが、卸売業社での加工処理の人材が不足。  
3月以降、豚肉・鶏肉の売り上げ1～3割増加。6月以降、増加率鈍化。  
豚枝肉価格上昇分を十分に転嫁できないため、豚肉の利益率が低下。  
豚ももなどの低価格部位の販売に注力。  
輸入豚肉の手当が目途がつくと、チルド豚肉にシフトする可能性あり。  
米国では、対日豚肉輸出に対する優先度は、現在、高くない。  
ソーセージや食肉使用の惣菜の販売も増加。

#### ウ 中小スーパーチェーン

和牛は2～3月に一時の減少後、4月以降は回復から増加。6月以降増加率鈍化。  
豚肉・牛肉の計で、4～5月の売り上げが25～30%増加。  
豚枝肉価格上昇分を一部転嫁できたが、利益率がやや低下。

#### エ 中小量販店

単価の高い和牛不振、豚肉・鶏肉は増加。  
豚肉でも低価格部位の売り上げが好調。

#### オ 専門小売店

店舗の立地にもよるが、牛・豚肉とも、売り上げ増加。  
一部の店舗では、量販店での密を回避するため、専門店への来店が増加。  
和牛の枝肉価格が下落したので、売りやすくなったとの声も。  
高価格部位は総じて売り上げ不振。卸業からの投げ売りで購入した部位は完売。

#### カ 給食

##### ・ 学校

3月から5月中旬頃まで供給停止。7月、夏休み短縮で売り上げ激増。  
豚肉ももを納入。8月下旬も納入予約あり。  
10月から11月の間、和牛を給食で提供予定。  
休校の場合のリスクを負う。市町により、やり方異なる。

##### ・ 社員食堂

在宅勤務などで4月は7割減。7月、2割減。

#### キ 生協・通販

生協の共同購入・宅配が好調。納入希望量に応じきれない時期があり。  
通販は、冷凍販売に対応できる食肉の売り上げはやや増加程度。

ク ふるさと納税

牛枝肉価格が下落する前に決めた価格での納入なので、活用している。

ケ 輸出 1月から減少、ロイン系の部位が特に不振。

## 2 食肉卸売業者をめぐる状況と対応

ア 食肉卸売業者をめぐる最近の状況

外食への販売依存度が高い社ほど、売り上げ減少が大きい。

和牛の売り上げ比率が高い社ほど、売り上げ減少が大きい。

和牛の高価格部位の売り上げが、ホテル・焼き肉店の不振等により、激減。

牛肉の輸出額が1月以降減少し、6月に初めて前年比で増加。

イ 食肉卸売業社の対応事例

○ 政府によるコロナウイルス感染症関連対策への申請・参加等

・農水省 和牛保管事業

販売不振の高価格部位を凍結・保管。

和牛販売による赤字を少しでも圧縮したい。

・他省庁の事業

持続化給付金、家賃支援給付金の申請を検討等。

○ 和牛の部分肉価格の比価の調整

和牛のヒレやロインの高価格部位の部分肉セット価格に対する比価を下げ、ももなどの従来の低価格部位の比価を上げる。

高価格部位の売れ行き不振が長期化するのを見込んでの対応。

○ 外食向け部分肉スペック（規格等）を量販店向けに仕様を変更

販売不振な外食から好調な量販店への販売を強化するため、量販店にスペックの変更を提案したところ、一部、了承され、売り上げに貢献。

○ 密を回避したドライブスルー形式の販売

異業種と同一地域で5月末から継続、販売が好調。

○ ふるさと納税、給食、通販の活用。